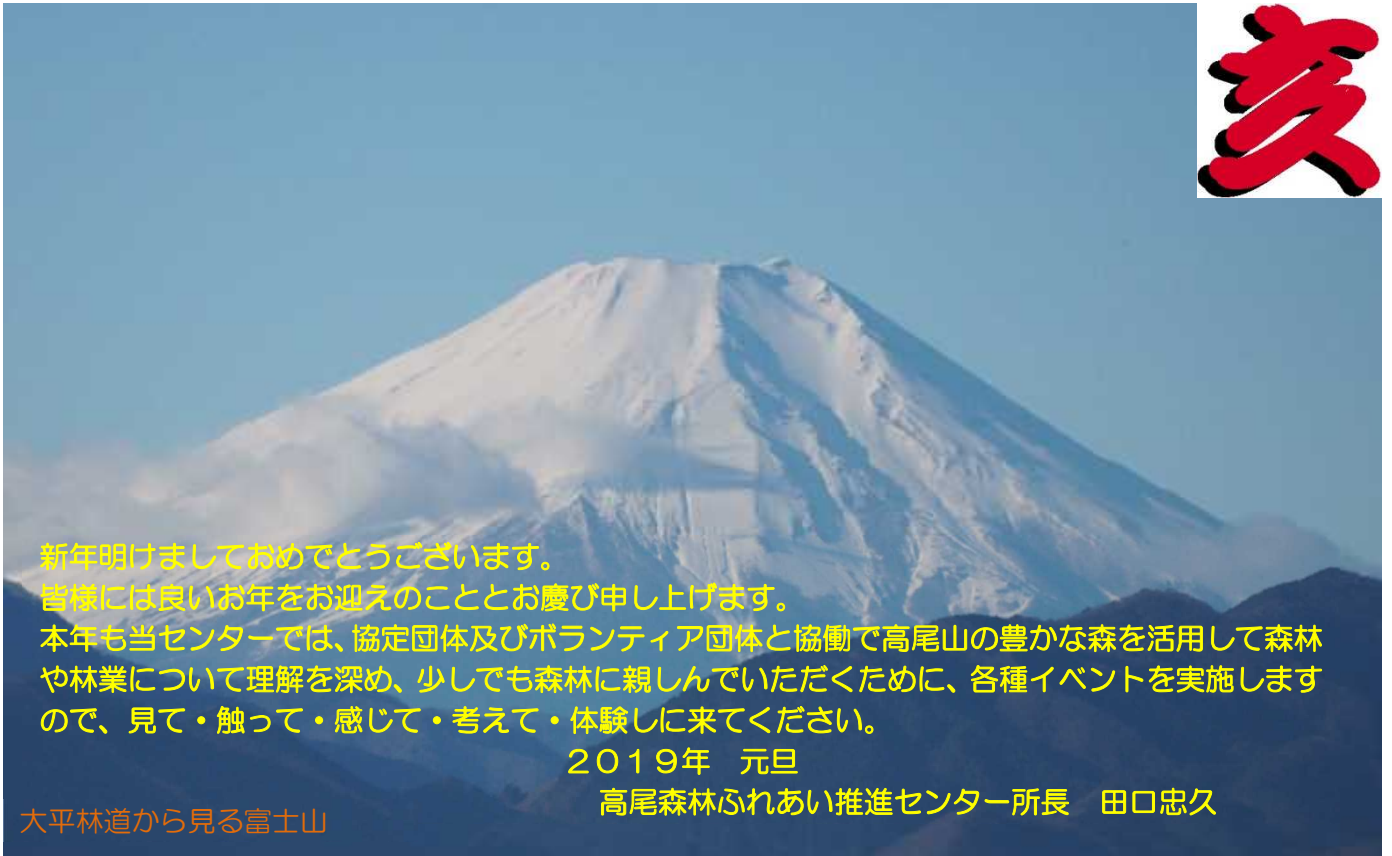


Forest 通信 H31 1

林野庁 関東森林管理局 高尾森林ふれあい推進センター NO.359

亥



新年明けましておめでとうございます。
皆様には良いお年をお迎えのこととお慶び申し上げます。
本年も当センターでは、協定団体及びボランティア団体と協働で高尾山の豊かな森を活用して森林や林業について理解を深め、少しでも森林に親しんでいただくために、各種イベントを実施しますので、見て・触って・感じて・考えて・体験しに来てください。

2019年 元旦

高尾森林ふれあい推進センター所長 田口忠久

大平林道から見る富士山



高尾山の生きものたち

キクイタダキ (キクイタダキ科)



キクイタダキは、赤ちゃんのようなイメージだ。小さい身体の割に大きな目と小さなくちばしで可愛い顔をしている。頭の上に黄色い模様があるのが特徴で、これが菊の花片に似ているので、「菊戴」と名付けられた。

留鳥または漂鳥で、春夏は山地や亜高山の針葉樹林で繁殖し、秋冬は低地や暖地でも見られる。高尾山でも見たことがある。全長が約 10 cm、体重 5g 程度と日本では最小の鳥の一種で、樹木の梢をせわしなく動き回り、時にはホバリングをして昆虫やクモ類などを捕食する。

東京付近では希少な種になっていて、また、常緑樹の中にいることが多いので、見ることは難しいが、一瞬でも愛らしい姿に出会えると感激する。

(写真・文 森林インストラクター 藤原 裕二)



出前森林教室



横浜市立 谷本小学校

12月19日（水）に横浜市立谷本小学校の5年生67名の児童が今年6月に開催する炭焼き体験に備えて、学校林内に繁茂する竹を活用して竹割り作業を体験しました。

開始に当たって、所長から森林の働きとその大切さについて、職員からなぜ炭焼きをするのかについて分かり易く説明があり、児童達は師走の寒さの中、校庭に座り熱心に耳を傾けていました。

その後、6班に分かれて職員や先生方の補助を受け、80cmの長さに切った大小の竹を竹割器で数枚に割り、割られた竹に残っている節を慣れない手つきながらも金槌で丁寧に取り除きました。その日の作業は、その竹を一まとめにして縛り、センターのトラックまで協力して運んでもらうところまで行いました。ケガをすることもなく二時間ほどで竹割作業を終了しました。

最後に、児童代表が「楽しい体験をさせてもらって楽しかったです」とお礼の挨拶をしてくれました。

今回の作業は、炭ができるまでの一作業ですが、児童達は6年生になった6月に炭焼き体験をすることで、炭の作り方や炭が出来上がるまでに様々な工程を経ることなど多くのことを感じてくれると信じています。（草）



よいしょっ！ きれいに割れました

職員紹介

12月に当センターへ配属となった職員を紹介します

草留 一久（くさどめ かずひさ）

12月1日付けで高尾森林ふれあい推進センターに勤務することになりました草留です。このたび国有林業務に就きましたが、数年間、役場や森林整備センターに出向していましたので、まるで浦島太郎状態です。定年退職まで3ヶ月を切りましたが、市民の方々を対象とした森林環境教育実践の職場ですので、国有林をアピールする一助となれるよう仕事を進めてまいりたいと考えておりますのでよろしくお願いいたします。



シモバシラの季節となりました

※シモバシラの枯れた茎にできます
(2019.1.1 高尾山頂付近)



シモバシラの花
(シソ科)

平成31年度 イベント実施団体の募集予告

国民の森林「国有林」では、地方公共団体や教育機関等の要請やニーズを踏まえ、森林・林業に対する理解が深められるよう、森林教室等のフィールド提供、指導者の紹介や情報提供等を行っています。

平成31年度の森林ふれあい推進事業のイベント実施に当たり、関東森林管理局長と協定を締結し、高尾森林ふれあい推進センターのイベントを実施していただく団体等を公募します。募集開始は、平成31年1月下旬頃の予定です。

具体的な実施内容

1 協定イベント実施団体の選定

営利を目的としない法人または団体（以下「団体」という）を公示により募集し、森林ふれあい推進事業の趣旨に沿って創意工夫により、イベントを計画実施できる団体

2 応募団体資格（以下の条件を全て満たす団体）

- (1) 従来から森林を利用した活動等を実施し、森林とのふれあいを促進させるプログラムを実施している団体
- (2) 森林・林業等について、適切に説明ができる者（森林インストラクター等）を有している団体
- (3) 国と連絡・調整を行うことができる団体
- (4) その他森林管理局長が定める条件に合致した団体

3 実施内容

参加費は、団体において、保険料・通行料・施設入場料、インストラクター等の直接人件費及び旅費・保険料等及び資料・機材等の提供に要する経費について、消費税相当額により算出した実費として、実施団体において決定・徴収していただきます。

5 留意事項

国有林からは、フィールドの提供、森林ふれあい館、日影沢キャンプ場、自然学習体験施設（炭焼小屋）、展示室及び木工体験室等の施設を優先的に使用できるほか、必要により資機材の貸出や技術的支援等を受けることができます。

募集予告に関するお問い合わせ先

平成31年度 フォレストサポートスタッフの

募集予告

林野庁関東森林管理局高尾森林ふれあい推進センターでは、森林教室や体験林業等のイベント実施に当たり、イベントサポートしていただける森林ボランティア「フォレストサポートスタッフ」を委嘱しています。

平成31年度は、①継続して活動いただける再委嘱者の確認と②新規に委嘱を受けて活動いただける新規委嘱者を募集いたします。募集開始は、平成31年1月下旬頃の予定です。委嘱期間は原則として平成31年4月から翌年3月までの1カ年です。

資格要件（以下のいずれかを満たすこと。）

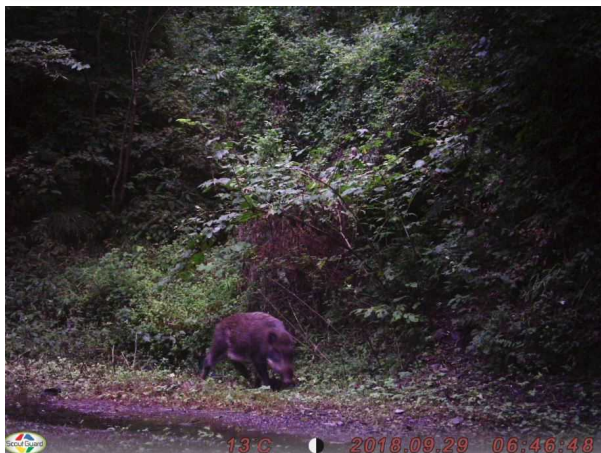
指導力及び行動力に富み、本制度の趣旨を理解し、自主的に協力する意志がある者で、次のいずれかに該当する者のうちから、高尾森林ふれあい推進センターの活動区域内で活躍いただける者を選考し、委嘱します。

- ① 地方公共団体、森林組合、山岳関係団体、ボランティア団体、自然保護関係団体等の関係機関から推薦を受けた者（団体推薦）
- ② 学校教育法に規定する高等学校、大学（大学院、短期大学を含む。）、高等専門学校及び専修学校の学校長又は教授等から推薦を受けた者（学校推薦）
- ③ 高尾森林ふれあい推進センター所長がフォレストサポートスタッフとして資質を備えていると認められた者（自己推薦）



関東森林管理局 高尾森林ふれあい推進センター
TEL 042-663-6689
FAX 042-663-7229

センサーカメラで捉えた
高尾山の動物たち（30年度撮影）



今年の干支 イノシシ



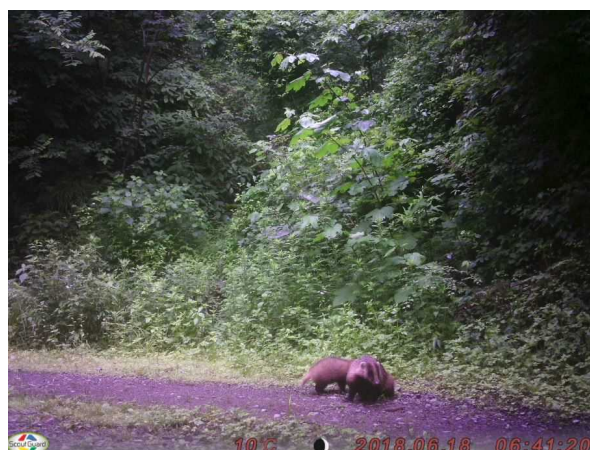
イノシシ（ウリボウ）



キツネ



シカの群れ



アナグマ（親子？夫婦？）



アライグマ（生態系への影響が心配）

ここでは紹介できませんでしたが、ウサギや大きな角をもったシカなども写っていました

編集後記

明けましておめでとうございます。

新年は、陣馬高尾特別警防のため高尾山山頂で年明けを迎えました。

本年も良い紙面作りに努めて参りたいと思いますのでよろしくお願いいたします。

また、毎回素敵な写真と文をご提供くださる森林インストラクターの藤原裕二様に感謝申し上げます。ありがとうございます。

Forest 通信 NO359

発行 林野庁関東森林管理局

高尾森林ふれあい推進センター



ご意見・ご要望・イベントのお申込み・お問合わせ先
林野庁関東森林管理局高尾森林ふれあい推進センター
〒193-0844 東京都八王子市高尾町 2438-1
TEL 050-3160-6040 FAX 042-663-7229
<http://www.rinya.maff.go.jp/kanto/takao/index.html>